

- ① 事前アンケートの結果について
- ② 改正物流法の施行に向けた情報
- ③ トラック・物流Gメンの活動について
(九州運輸局担当者説明)
- ④ 物流事業者DX事例の紹介
(二次元バーコードを活用したBtoB小口置配)
- ⑤ 参考資料紹介
 - ⑤-1 最近のトピック (各省報道発表資料等)
 - ⑤-2 事前にいただいた問題意識等
 - ⑤-3 物流効率化に向けた努力義務における判断基準

事前アンケート結果①

回答者種別



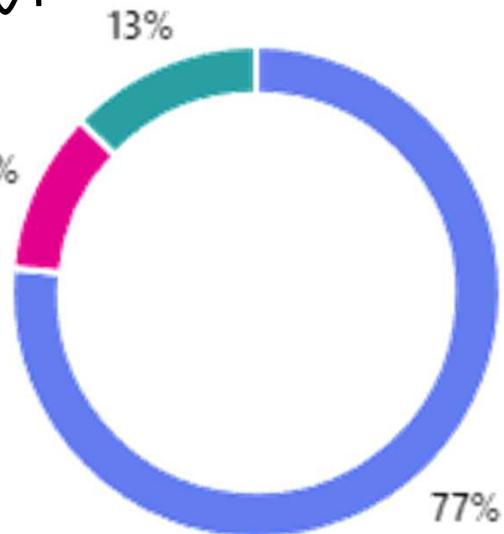
説明会、興味のあるテーマ



物流維持への不安の有無

わからない

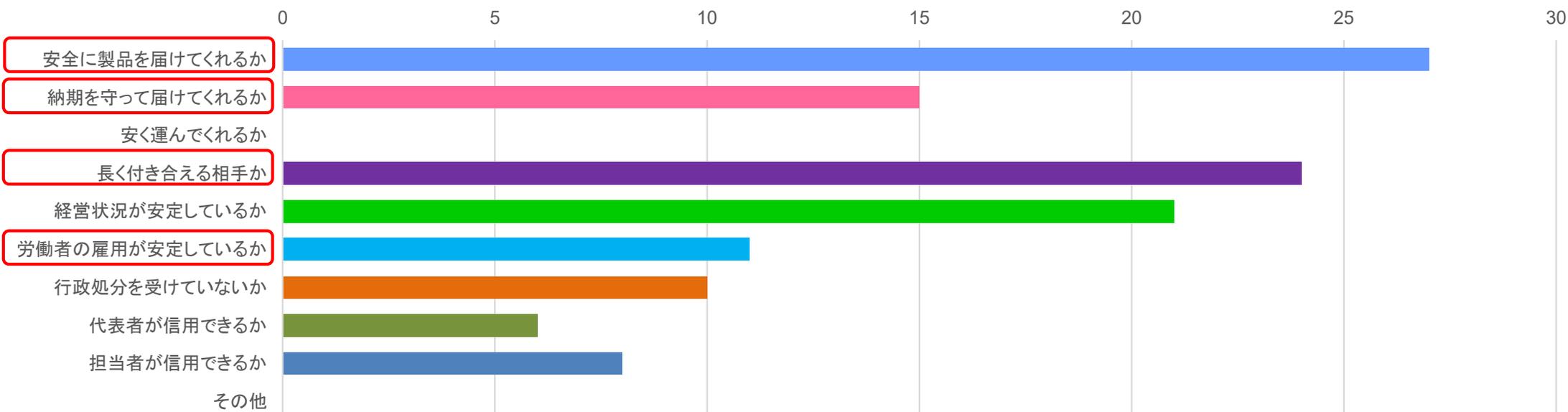
ない



ある

事前アンケート結果②

物流パートナー選定の重要項目 (全体)



物流パートナー選定の重要項目(荷主回答)



物流パートナー選定の重要項目(物流回答)



事前アンケート結果③

物流維持への不安（具体的内容）

実運送トラック運送事業者

- これからも経費の高騰に見合った価格転嫁が可能か
- **正しいことをしていても、社内から「売上が上がらない、儲からない」といった声上がる。**

発・着荷主事業者

- 荷主側と荷受側の認識の開き
- RORO船等の枠が無い状況で今後も継続すると予想される
- **医薬品不足で作っては出しの状態**で輸送まで滞ると国民の健康に支障が出る

元請トラック運送事業者

- **運送事業者の関係者も危機感があり感じられない**気もする。一方で、委託を受け入れてくれる協力会社が減ってきた感覚がある。
- ドライバー不足である一方、お客さんの過度な要求

その他事業者

- 社内の人材の高齢化→引退によって業務ノウハウが失われている危機感を感じている事業者が増えている。
（行政書士）
- **事業承継について認知してもらう必要がある**と感じる（行政書士）。